

紫波ネット

人と地域をつなぐ広報紙

1

No.855 2013

紫波ネット855号
平成25年1月9日発行
岩手県●紫波町 〒028-3392
紫波町日詰字西裏23-1
印刷・川嶋印刷株式会社



「妖精の舞」女子新体操
町の話題



4人5団体に農業賞
農業振興大会



雪だるまと一緒に！
表紙

【表紙の写真】オガールプラザ前の東広場に飾られた雪だるま。それを見に集まった子どもたちは、子育て応援センターしわっせに遊びに来ていたお友だちです。自分の背丈以上もある大きな雪だるまを横に記念撮影。昨年7月の開館以来、「しわっせ」には町内外からたくさんの親子が訪れています。



にこにこひるばで人形劇
町の話題

オガールで出会ったお友だち



特集 町の拠点着々とオガールプロジェクト 04

- | | | |
|-----------------------|-------------------|---------------|
| 02 新春・町長からのメッセージ | 14 豊かな公が息づくまち | 24 シリーズ行ってみよう |
| 10 もっと知りたい図書館 | 15 環のくに紫波「省エネ・節電」 | 紫波の伝統食を作る |
| 12 農業振興に貢献した4人5団体に農業賞 | 16 健やかランド紫波 | |

百年の大計で発展する町

平成25年の新年を迎え、謹んでお祝い申し上げます。また、被災地から避難されて来られた方々に對しましては、震災から1年10カ月になりますが、いまだに本格的な復興の進展がない状況が続いており、早急な復興を切望するばかりであります。

昨年の暮れは、衆議院総選挙が実施され、新内閣が発足しました。争点でありました震災の早期復興を始め、消費税の増税、原子力発電所の有無、防衛問題、環太平洋戦略的経済連携協定など、速やかに解決していただき、安定政権により、世界をけん引する国政を願うものであります。

当町においては、現在、オガールプロジェクトを順次進行しており、民間商業区画の事業提案募集が始まり、平成26年度には完成、そして稼働の予定です。また、役場庁舎は現在、設計の協議中であり、「町民に親しまれ、使い勝手の良い庁舎」を目指し、今年の2月には実施設計に着手し、9月に着工、平成27年3月には完成する予定で進めています。住宅街区も造成工事が始まり、オガールエリア

は一層町のにぎわいの創出につながるものと期待しています。

当町では今後も、再生可能エネルギーの活用について、積極的に取り組んでまいります。震災後は、日本全体で今までのエネルギー利用を見直す方向にあります。先進地のヨーロッパでは、ロシアのチェリノブイリ事故が発生して以来、原発に対する見直しが行われ、再生可能エネルギーの研究が進んでいるため、日本は技術的に20年遅れていると言われています。当町においては、先進事例を学びながら、オガールプロジェクトの一環として、地域熱供給に取り組んでまいります。

政府は、6次産業化法を制定し、農林水産物の加工・販売を一体的に行う事業を支援しており、町内では、7事業体が認定されております。農業後継者の育成については、新規就農者も含め、紫波町農林公社が中心となって進めており、篤農家で農業技術を研修し、独立を目指して頑張っております。林業におきましては、後継者不足が深刻でありますことから、機械化とともに若年後継者の育成に努めてまいります。

松枯れの原因であるマツノザイセンチュウ（松食い虫）は、12年の間、当町が最北端の防壁となっておりましたが、平成22年から猛暑などの影響もあり、異常発生が始まり、盛岡市



紫波町図書館で12月16日、水分地区の宮手上子供会が読書会を開催。思い思いの本を手にした児童たちの目は、とても輝いていました。藤原孝町長と一緒に並んだ子どもたちは、当日参加した（左から）岩館大樹君、上戸美穂さん、鷹嘴美希さん、菅原篤樹君、生内優汰君、谷地館武尊君

や矢巾町にも、被害が拡大しています。駆除については、この3市町が国や県に要望し、被害の拡大を阻止できるような努力をまいります。

子育て支援につきましては、オガールプラザに開設した「子育て応援センターしわっせ」において、町内外から多数のご利用をいただいております。また、老朽化した保育所の移転については、位置の決定を図り、待機児童解消に努めてまいります。

情報交流館の完成により、新たな文化創造の場がさらに充実し、気軽に活用できると、町内外から好評を得ております。入館者を見ると、若年層から高齢者まで幅広い年代の方々が利用され、文化活動に寄与していることを実感します。生涯学習が盛んになることは、健康寿命の延伸にもつながることから、さらに力を入れてまいります。

平成25年4月に、下水道使用料の値上げを予定しています。昨年、各地区で説明会を開催し、皆さまからご理解を賜ってまいりました。現状としては、年々一般会計からの支出の増大とともに、赤字が生じていましたので、公平性の見地からも、利用者の皆さまにご負担をいただくこととするものです。経費削減と経営合理化をさらに進めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

当町は、平成12年以来「環境と福祉のまち」を掲げ、「循環型社会の構築」を町政の柱として発展してきました。今、被災地の復興が国政の最大の課題となっております。少子高齢社会において、震災復興には、循環社会の構築こそ重要な施策だと考えております。

これからの町の発展は「オガールプロジェクト」を進めることで新たなにぎわいが創出され、田舎の良さと都会の香りが漂う街並みが形成されていくところにあり、このことは、近隣からも高く評価されております。

日詰商店街は「公民連携開発区域」の圏内であります。歴史と文化と景観を活用した町づくりで誘客を図っていく必要があります。往時の繁栄を再現し、新たなまちづくりを進めることで、町全体の価値向上につなげるものであり、定住人口の向上に寄与するとともに、現在、町が進める「百年の大計」の基に発展する一年となるよう取り組んでまいります。

今年は、癸巳（みずのとみ）年です。この年に生まれた人たちは、情熱的と言われています。まちづくりにおいても、情熱を込めて努力してまいります。この1年も皆さまにとって素晴らしい年でありますようお願い申し上げます。

紫波町長 藤原 孝

A photograph of three children standing in a library. On the left, a boy in a blue plaid shirt holds a large blue sign with the number '100' in yellow. In the center, a girl in a grey vest over a white shirt holds a small green book. On the right, a girl in a white sweater with a colorful pattern holds a book titled '1月のえほん' (January's storybook). They are standing in front of tall bookshelves filled with books. The floor is light-colored wood.

図書館が育む知性と創造力
未来に羽ばたけ紫波の子どもたち
町も人もオガール

町の拠点づくり着々と オガールプロジェクト

町は、紫波中央駅前の町有地10.7ヘクタールを、町全体が発展するための拠点と位置づけ、オガール紫波株式会社と連携して開発を進めています。平成22年4月に岩手県フットボールセンターがオープンし、昨年6月には、図書館や産直が入った官民複合施設オガールプラザが完成。残る区画も、今後、民間の提案を受けながら整備が進められ、平成27年にはそのほとんどが姿を現します。今月は、紫波中央駅前都市整備事業「オガールプロジェクト」の今後の計画についてお伝えします。

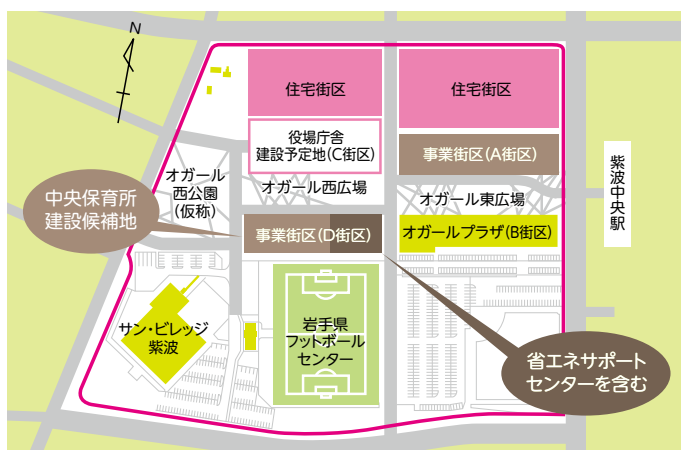
オガールプロジェクトで現在進めているのは、C街区における「役場新庁舎の整備計画」と、A街区とD街区の一部における「民間事業者による町有地活用事業の提案募集」です。

この募集事業の条件は「都市と農村の暮らしを愉しみ、環境や景観に配慮したまちづくりを表現する場を創出する」というオガールプロジェクトの理念に基づくものとしています。

D街区のうち、提案募集するのは、省エネルギーサポートセンターを含む官民複合施設で、東側およそ3分の1の部分です。残る3分の2は、中央保育所の建設候補地としています。

また、これら事業街区の北側には、宅地分譲を計画しています。住まい方やデザイン、維持管理などを提案しながら、今年の秋ごろから段階的に販売を開始する予定です。

町とオガール紫波(株)は、オガールプロジェクトで不動産の



価値を高める開発を目指しており、統一感を持った街並みを形成するため、デザインガイドラインを定めて景観の向上を図ろうと進めています。

また、オガールプロジェクトのエリア内には、木質バイオマスを活用した熱供給システムが計画されており、住宅の暖房や事業棟の冷暖房に役立てられるほか、林業者の雇用確保、森林資源循環など、町の循環政策にも呼応する事業として進められています。

オガールプロジェクト予定表

	平成25年												平成26年				平成27年			
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	4	7	10	1	4	7	10
役場新庁舎	設計						建築確認申請	建設									完成			供用開始
A 街 区	企画・提案	設計					建築確認申請	建設									OPEN予定			
D街区 東棟	企画・提案	設計					建築確認申請	建設									OPEN予定			
D街区 西棟																				中央保育所建設候補地
オガール西広場	整備																			
オガール西公園	設計												整備							供用開始
インフラ整備	ハウスメーカー協議 企画									9月 南北線全線、住宅街区東側道路供用開始										
住 宅 街 区										販売開始										

A街区、D街区中、
「企画」→民間事業者募集
「設計」→土地貸付協議・設計
「建設」→土地貸付契約・建設

※平成24年12月末日現在(この予定表は変更となる場合があります)

宅地分譲は今年の秋ごろから (住宅街区)

町は、オガール紫波(株)と共に、企画・販売・デザイン・住まい方・維持管理方法などを考えながら、今年の秋ごろから住宅街区を分譲する予定です。

民間企業の募集を開始しました (A・D棟街区)

町は、紫波中央駅前町有地の事業街区A・D街区を活用してもらう民間事業者の募集を開始しました。紫波中央駅前都市整備事業などの趣旨に沿ったA・D街区活用の提案を公募し、最も優秀な提案を行った事業者を選定しようとするものです。

事業者決定後は、事業者と土地貸付の協議を行い、今年4月ごろから設計に入り、8月に着工、平成26年夏ごろの完成を目指します。

【問合せ】 企画課 公民連携室 ☎672-2924(直通)

ホームページ <http://www.town.shiwa.iwate.jp/ppp/>

オガールプロジェクト 開発テーマ

1. 農村(田園)と都市(街)が共生するまち

紫波の農作物や農村の良さに触れることができ、そして都市機能が集積された、使いやすく人が集うまちを目指しています。

2. 若者、高齢者、すべての人が希望を持ち、安心して暮らせるまち

住環境が充実し、そして多様な雇用が生まれ、若者が学び・働き・挑戦できる環境が充実したまちを目指しています。

3. 人にも地球にも「やさしい」まち

環境への配慮を実践し、そしてすべての人にやさしい街を目指しています。

4. 優れたデザインの採用

目に見えるデザインは元より、ライフスタイルのデザインを大事にします。

オガール 情報

子育て応援センターしわっせ

昨年7月の開館以来、町内外から8000人近くの親子が利用しています。自由に遊ぶことができる『ひろば』を中心に、さまざまなイベントなどを開催していますので、初めての人もお気軽にご利用ください。

「ひろば」のご案内

- 対象 小学校就学前の児童とその保護者(町外の人も利用可)
- 開設日 月～土曜日 午前9時～午後4時(祝日・休所日を除く)
- 講座・イベント 『紫波ネットお知らせ版』の保健・育児カレンダーをご覧ください。

「一時預かり」もご利用ください

- 対象 満1歳から小学校就学前の児童(町内在住の人に限りです)
- 日時 月～金曜日 午前9時～午後4時30分(祝日・休所日を除く)
- 料金 子ども1人につき1時間あたり300円 ※お弁当やおやつはご持参ください。
- 問合せ 紫波町子育て応援センターしわっせ ☎671-2200

ITサポートコーナー

パソコン相談会～毎週水・土曜日～

インターネットやメール、ワード・エクセルなどのパソコン操作について相談を受け付けます。ノート・タブレット型パソコンであれば持ち込みによる相談も対応します。

- 日時 毎週水・土曜日(変更あり) 午後1時～7時
- 場所 情報交流館(総合窓口でご確認ください)
- 問合せ NPO法人あいぼろ紫波 ☎676-6558

市民活動支援センター「ゆいっとサロン」

市民活動をしている人はもちろん、これから何か始めたいと思っている人に対し、スタッフが持つノウハウ、ネットワークを活用して、活動上の悩みに応えるため、一緒に考えサポートします。また、活動団体の紹介や活動助成などの情報提供のほか、活動団体の交流の場づくり、講座の開催などを支援します。ぜひ一度お立ち寄りください。スタッフが不在の時は、市民活動団体のミーティングなどにもご利用いただけます。(1時間以内)

- 開設日 日曜日、火～金曜日 午後2時～7時(毎月末日、年末年始は休み)

- 連絡先 ☎676-2468 FAX 672-3618
✉yuitto@nifty.com

- ブログ <http://yuittosaron.blog78.fc2.com/>

緑の大通り「オガール広場」の整備も進んでいます

オガール東広場は、平成24年8月の完成以来、有料では延べ30日間のご利用をいただきました。現在はオガール西広場の整備と、西公園(仮称)の設計が進んでいます。

事業棟と緑地空間が出来上がることにより、町のにぎわい・利便性と、農村の豊かな環境・風景が結びついた町のシンボルとなることでしょう。

- 問合せ 企画課 公民連携室 ☎672-2924

紫波中央駅前駐車場は90分無料

オガールプラザやフットボールセンターで催しがある際、来場された皆さまには駐車場の混雑によりご迷惑をおかけしています。

オガールプラザを利用する皆さまに気軽に駐車いただくため、駐車料金は90分間無料にしています。(基本は駐車開始から24時間ごとに100円です)



新庁舎完成イメージ（模型）

役場新庁舎の設計作業を進めています（C棟街区）

オガールエリアC棟街区に建設する役場新庁舎は、平成27年度の供用開始を目指し、昨年12月に住民説明会を開催。町の皆さんからいただいたご意見を参考にしながら、今年9月に着工を目指して設計作業を進めています。

現在の役場本庁舎は、昭和38年3月の落成から、すでに49年が経過し、耐震性の低下をはじめ、分散された庁舎、エレベーターや町民談話スペースの未設置、駐車場不足など、さまざまな課題を抱えています。

このような状況から、町は、新庁舎建設に向け、平成20年に新庁舎建設基本構想、平成23年に新庁舎建設基本計画を策定しました。

建設位置については、将来のまちづくりの拠点となり、町の皆さんが利用しやすく、防災拠点としてもふさわしい場所が望ましいと考え、昨年3月の町議会議決を経て、紫波中央駅前オガールエリアとし、PFI手法で整備することを決定しました。

建設に当たっては、次の5項目を基本方針としています。

1. 町民サービスの向上を目指した機能性・効率性の高い庁舎
2. 全ての町民に開かれた庁舎
3. 防災拠点機能を備えた庁舎
4. 町民に親しまれる庁舎
5. 環境の町にふさわしい庁舎

町は、これらの方針を考慮しながら、新庁舎の基本設計案を作成し、昨年10月から11月にかけて、区長協議会や社会福祉協議会、女性団体などの各種団体との意見交換会をそれぞれ実施し、実際に行政サービスを行う職員からも意見を聴取しました。これらの意見を参考とした基本設計案について、町議会12月会議で説明しました。1月中旬に決定する見込みの原案の一部は次ページのとおりです。

新庁舎建設基本設計原案



庁舎機能を一カ所に 環境や耐震に配慮

新庁舎の基本設計原案(概略)は次のとおりです。

- 【敷地面積】 6600㎡
- 【建築面積】 2360㎡
- 【延べ床面積】 6540㎡
- 【構造】 木造・鉄筋コンクリート造
- 【階数】 地上3階(一部4階)
- 【来庁者駐車場】 72台
- 【環境配慮】 太陽光発電20kW、雨水利用LED照明
- 【耐震】 震度7に耐えられる性能(災害対策本部の設置が可能)
- 【事業費】 約31億円(15年間の維持管理費含む)



情報交流館大スタジオで開催された意見交換会の様子

「町民に親しまれる
庁舎に」意見交換

町は、12月8、9の両日、一般町民を対象に、町内3カ所で「新庁舎整備事業基本設計案意見交換会」を開きました。3カ所で延べ30人が来場し、落雪対策や木造の耐久性、自然エネルギーの活用などについての質問が出されました。また、会場では、町内各種8団体からいただいた意見を踏まえて作られた新庁舎の模型が公開されました。

地域の再生可能エネルギーを活用する エネルギーステーションを計画

現在進行中のオガールプロジェクトにおいて環境・循環をテーマに、地域再生可能エネルギーを活用する新たな取り組みが始まります。木質バイオマスを活用し、環境にやさしいまちづくりの拠点施設となるエネルギーステーションを計画しています。

地域の再生可能エネルギー、 「木質バイオマス」

○木質バイオマスとは？

木を利用したエネルギーを総称して木質バイオマスといいます。木質バイオマスで広く使われているのが燃料用木質チップです。チップは林地に残された木材などをチップパーで切削したもので、含水率を25%から43%で調整して作られています。

木質バイオマス活用の拠点施設 エネルギーステーション

町は、平成12年に「紫波の環境を百年後の子どもたちによりよい姿で



ドイツで使用されている
チップボイラー

木質チップをボイラーで燃焼させ、水管を温めて熱交換機で発電、温水は地域熱供給として住宅街区にも循環される

木材を切削して木質チップに

【エネルギーステーション事業概要】 (予定)

- 暖房・冷房熱供給 新庁舎、A街区民間事業棟への供給
- 暖房熱供給 住宅街区57戸への供給
- 電力供給 平時は、有機ランキンサイクル(ORC)により発電を行い、電力会社に全量売電を行う。
- 導入設備機器
木質高温水ボイラ800kW
二重効用型吸収式冷凍機1,500kW相当
有機ランキンサイクル30kW
その他関連施設(熱供給配管、配管設備、非常時システム等)
- 事業主体
紫波グリーンエネルギー株式会社(平成24年9月設立)
※災害時には、新庁舎等において一部電力を自家消費できる体制にします。
※有機ランキンサイクル(ORC)：水を利用した蒸気発電システム(ランキンサイクル)と似ていますが、水の代わりに沸点の低い熱媒体を利用します。

残し伝えていきます」という強い思いを「新世紀未来宣言」として発表しました。以来、この理念をまちづくりの基本として、環境・循環の取り組みを進めてきました。ラ・フランス温泉館で進められている自然エネルギー活用の取り組みもその一つです。現在進行中のオガールプロジェクトでも環境・循環をテーマに、新たな地域再生可能エネルギー活用の取り組みが始まろうとしています。地域の再生可能エネルギーである木質バイオマスを活用し、環境に優しいまちづくりの拠点施設としてエネルギーステーションの建設計画が進められています。

◆工事スケジュール

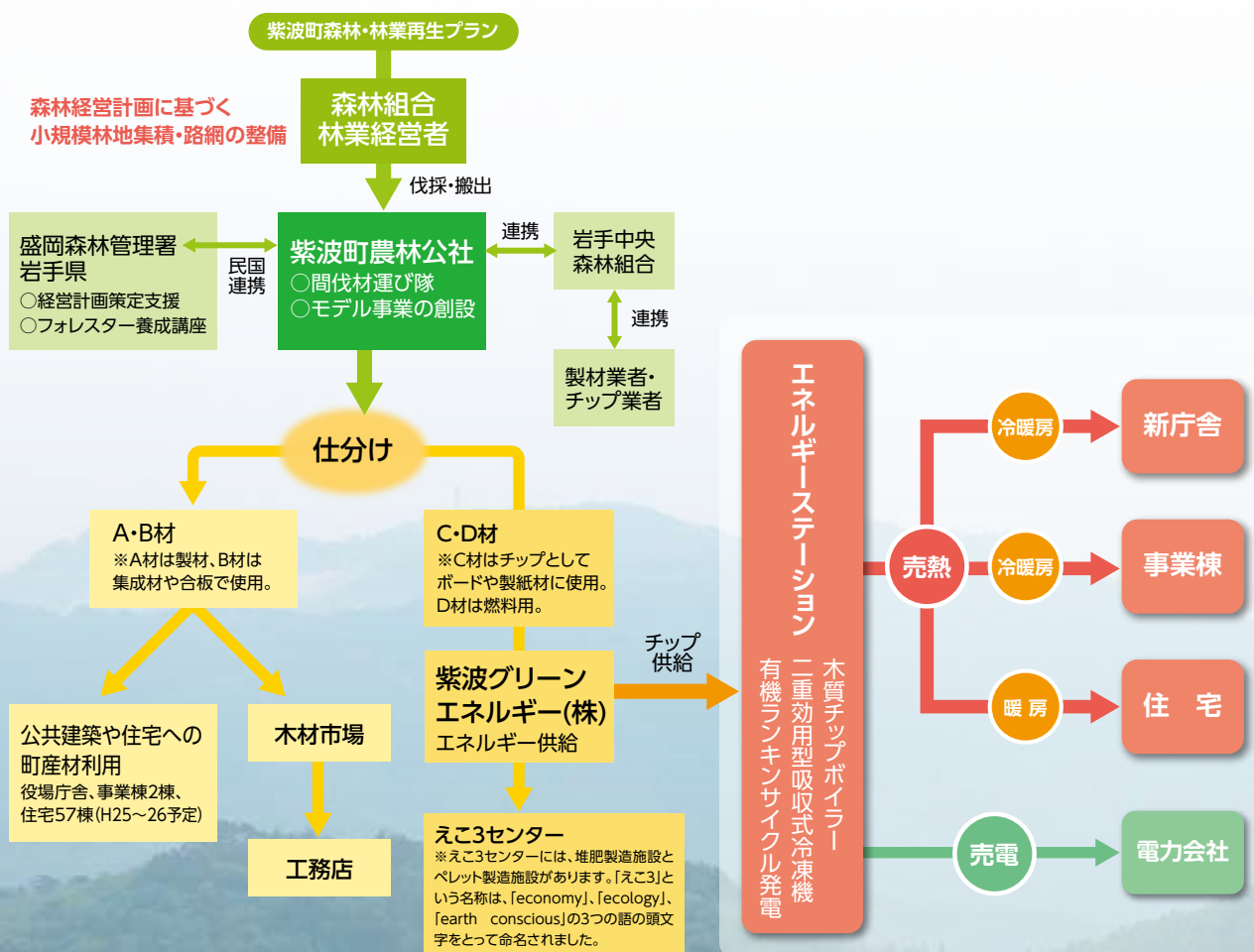
- 平成24年度
1 新庁舎、民間事業棟への配管工事
2 エネルギーステーションから住宅街区東側全体の配管工事
- 平成25年度
3 実施設備設計
1 住宅街区配管工事
2 設備機器導入工事
3 建屋工事
- 平成26年度
4 接続工事
- 平成27年度
1 接続工事(平成27年度から新庁舎への供給を行う)
2 有機ランキンサイクル工事
紫波グリーンエネルギー(株)による保守・管理

森を守り雇用を創るという発想



エネルギーステーションの誕生により、紫波町の環境にやさしいまちづくりは、さらなる飛躍の時代を迎えることになるだろうと、地域産業界から大きな期待が寄せられています。それは、木質バイオマスの利用により、森林資源の保全と育成が健全な姿で行われ、森林資源の活用のために必要な雇用の創出が期待できるからです。木質バイオマスを活用することは、森林資源を地域の再生可能エネルギーとして生かして、石油代金として中央へ環流していたお金を地域で循環させるだけでなく、「森を守りながら新たな雇用を創りたい」という町の皆さんの熱い願いを実現することにもなります。木質バイオマスのエネルギー利用は、林業再生と地域経済循環の仕組みづくりにつながっています。

木質バイオマスエネルギー活用の流れ ～エネルギーの地産地消を目指します



もっと知りたい図書館

紫波町図書館が開館してから4カ月が過ぎました。暖かで、ゆったりとした時間が流れる館内の閲覧カウンターでは、コーヒーを飲みながら小説を読んでいる人や、眺めのいい2階の読書テラスでお昼ご飯を食べながら雑誌を楽しむ人など、利用者の皆さんが思い思いの時間を過ごしています。

「図書館＝本を読む場所」というイメージをお持ちの人も多いかと思いますが、紫波町図書館にはそれ以外にもぜひ皆さんにご利用いただきたいさまざまなサービスがあります。今回はそれら“パンフレットには載っていない”図書館の利用方法や、図書館で行われるイベントの一部をご紹介します。

図書館へ来たら要チェック！ 各種展示コーナー

館内には毎回1つのテーマに沿って集めた本を、見やすく、手に取って読みたくなるような工夫を凝らして、展示しています。中でも一番よく目に留まるのが、カウンターのすぐそばにあるこちらのコーナー。12月27日までは「冬じたく」というテーマのもと、編み物の本や冬に食べたくなるお鍋の料理本、その隣には年賀状の書き方の本などが並びました。



「冬じたく」コーナーでは、冬に作りたい紫波の伝統食レシピも配布

調べものにご活用ください！ データベース検索

図書館にはたくさんの人が調査や研究、日常の問題解決のために来館されますが、館内にある本だけでは情報が不足することもある

この他には旬のニュースを取り上げたり、映画・ドラマの原作本を集めたり、季節に合った子どもに読んでもらいたい本の展示なども行っています。展示コーナーの本も借りることが出来ます。



ツリーとともにクリスマスの本を集めた「クリスマス」コーナー

また、調べもの・相談用のレファレンス・カウンターがありますので、お気軽にご相談ください。



調べものの頼もしい味方「データベース検索機」

今月はどんなお話かな？ 各種おはなし会

児童フロアにある「おはなしのへや」では毎月、おはなし会などを開催しています。町内ボランティア団体による絵本の読み聞かせを行う「おはなし会」や、紫波町観光案内人しゃ・ペーるによる町の昔話を聞く「むかし語りっこ」など、子どもから大人まで楽しめるお話がいっぱいです。予約不要でどなたでも参加できます。



おはなしの世界へようこそ

【3月までの予定】

- ・おはなし会
1月19日(土)
2月16日(土)
3月16日(土)
- ・むかし語りっこ
1月12日(土)
※開催時間はいずれも午前11時から30分程度

本と人、人と人をつなぐ。 ブッククラブ

町は英語教育に積極的に取り組んでおり、町民の英語への関心も高まっています。そこで図書館では、1冊の名作を日本語版と英語版で読み、参加者同士でコミュニケーションを図りながら語学力と読解力を養う読書会「2013 ブッククラブ」を開催します。

講師に教育委員会のハワード・ドナルドさんを迎え、1月から毎月1回行います。

英語でのコミュニケーションに興味があり、高校生程度の英語力がある人ならどなたでも参加できます。

まだまだあります！

図書館あれこれ

・図書館のロゴマークは8冊の本で表現されていますが、実は左側の4冊がアルファベットの「S」を、右側の4冊が「W」をかたどりで



紫波町図書館
SHIWA PUBLIC LIBRARY

「紫波(SHIWA)」を表しています。

また、「4」冊の本が2組で「8」冊となることから、「4・8」で「紫波」と読むこともできます。

・図書館を初めてご利用いただいた人に差し上げているしおりの模様は、町内在住の型染職人・小田中耕一さんが図書館のロゴマークをアレンジしてデザインしたものです。

・館内にはインターネット検索パソコンが3台設置されており、WiFi環境も整っています。ご自分のWiFi対応のパソコンなどを持ち込んで、インターネットに接続することもできます。また、パソコン関連書籍もたくさん用意していますので、ぜひご利用ください。



初めて借りた人にしおりをプレゼント。
無くなり次第終了です

図書館利用案内

◇カード登録対象者

- ①町内在住、在勤、在学の人
- ②盛岡市、花巻市、矢巾町、栗石町、滝沢村在住の人(一部利用できないサービスがあります)

※図書館内資料の閲覧はカード登録をしなくても利用できます。

◇開館時間

火～金曜日
午前10時～午後7時
土・日曜日、祝日
午前10時～午後6時

◇休館日

- ・月曜日(月曜日が祝日の場合は、翌日以後最初の平日)
- ・館内整理日(月末最後の平日)
- ・年末年始(12月29日～1月3日)

◇貸出冊数

・本、雑誌、CDなど1人20点以内
(現時点は10点以内、うちCDなどは2点以内)

◇貸出期間

15日以内

【紫波町図書館HP】<http://lib.town.shiwa.iwate.jp>

農業振興に貢献した4人5団体に農業賞



農林業関係者が一堂に会し目標意識を再確認した大会の様子

生き生きときらめく 農林業をめざして

紫波町農業振興協議会は11月25日、第21回紫波町農業振興大会を開催しました。会場のJA岩手中央パーフルパレスには、約130人が来場。本大会は、3年に一度開催されており、農業賞の表彰や農業情勢の報告、基調講演などが行われました。

「ふるさとには負けない」と題する講演で、陸前高田市で創業205年の味噌・醤油醸造業を営む、株式会社八木澤商店の河野和義会長は、震災により土蔵などほとんどの財産を失ってしまったが、家族と呼ぶ40人の従業員が残ったことや、信用と約束を重んじ迎えた新入社員のこと、津波の被害を受けながらも奇跡的に無事だった「もろみ」、工場の再建、商品販売の再開、商売ができることの喜び、さらには未来に向けての展望などを語りました。

◆第12回「紫波町農業賞」受賞者紹介◆

第21回紫波町農業振興大会において、農業振興に貢献し農業者の模範であるとして、4人5団体が選ばれ、町の農業者の最高顕彰「紫波町農業賞」が贈られました。受賞された皆さんを紹介します。

営農部門

○中田 忠一さん（佐比内）



リンゴを中心に、ラ・フランスやモモといった果樹農家として経営を行うとともに、果樹以外にも野菜や切り花など多種

多様な農産物を生産・販売している。平成5年の紫波ふる里センター開業以来、組合員の中で販売額1位を維持するなど、産直を中心とした専業農家としてモデル的な経営を行っている。また、顧客需要を的確に把握し、さまざまな品種の検討を行うほか、地域内農業後継者に対する指導も行っている。

○有限会社七木田ファーム

代表取締役 七木田 一也（東長岡）

平成11年に法人を設立し、養豚の規模拡大と施設充実を図り、ウインドレス化による高いレベルの衛生管理を行うとともに、養豚生産管理システム（PRCS）による母体管理を行うなど、安全安心な豚肉づくりに取り組んでいる。また、1000頭豚肉生産者の会では、会長として活動し、高品質な豚肉を適正な価格で消費者に提供することにより、



地域養豚農家の農業所得確保を図り、養豚業振興の一翼を担っている。

むらづくり活動部門

○あづまね産直組合

組合長 鷹鷲 忠一（上松本）



平成7年の開業以来、水分地区の農業者を中心として、地域に根ざした活動を行っている。産直、ラ・フランス温泉館周辺の団体で組織されるあづまねエリア交流連絡協議会においても、中心となる

活動を行っており、地域コミュニティ形成に不可欠な存在となっている。平成21年から販売機会を増やすため、土日祝日営業に加え、平日も営業することで販売額を延ばし、農家の所得向上に貢献している。

○大巻産直組合

組合長 橋本 正光（大巻）

平成10年に開業し、安全安心な農産物を消費者に提供している。イベントなどにも積極的に参加し、生産者と消費者が交流を行う機会創出に努め、町内農産物の販売促進に貢献している。また、組合員の生産技術向上を図るための各種研修会を開催す

るほか、年中行事などの開催を含め、産直を中心にコミュニティ形成が進み、地域の活性化に寄与している。

○あぐりちゃや

組合長 細川 栄子（片寄）



平成18年に産直あぐり志和内にオープンした農家レストランで、地元の新鮮な米や野菜のほか、特産品である紫波もちも牛やしわ黒

豚などの紫波町産農畜産物にこだわったメニューが好評。地域ブランドの向上により、地域活性化が図られ、農村女性の模範となる活動を行っている。

功労部門

○梅澤 安志さん（赤沢）



就農後、貫してブドウ栽培に取り組み、ブドウ栽培の先導的な役割を担ってきた。赤沢果樹生産組合組合長

（昭和62年～平成22年）、岩手県農業農村指導士（平成6年～21年）、JAぶどう部会部会長（平成7年～21年）を務め、町内

外の農業振興に尽力。近年では、自園自醸ワインぶどう栽培研究会会長として自園自醸ワイン紫波の構想時から現在に至るまで、中心的役割を果たし、6次産業化と特産品開発においても活躍しており、長年にわたり町内農業振興に寄与している。

○小川 美代さん（高水寺）

全国有数のもち米産地である

当町において、もち加工品を地元住民に提供したいという思いから、平成12年



に古館農産加工組合を設立し、平成24年7月まで12年間組合長を務めた。町内産の高品質なもち米使用にこだわり、つくたてのもちやだんごを中心に、小屋ハウスでの販売を行うほか、産直や小売店にも出品を進め、販路拡大に努めた。また、地域の農村女性の代表として活動を行うなど、地域において信望が厚く、長年にわたり町内農業振興に寄与している。

青年農業奨励部門

○吉田 貴浩さん（赤沢）



経営の基幹であるブドウ栽培において、農業関係団体で

の就業経験を生かし、営農に取り組んでいる。「健康なブドウは、健康な土から」をモットーに、土ごと醗酵による土づくりに力を入れ、大粒系と醸造用の栽培を中心に規模拡大および多品種化を図っている。また、東部地区のブドウ栽培後継者による研究会を立ち上げ、生産物のブランド化および販路拡大を目指しているほか、農村青年クラブ、JA青年部において要職を務めるなど、町内農業の中心的担い手としても活躍が期待される。

特別賞

○有限会社高橋農産

代表取締役 高橋 信南（口詰）

平成16年に法人を設立し、地域からの作業受託を進め、経営安定に努めている。また、いわて直播栽培米研究会では、平成17年から会長を務めており、水稻直播栽培により生産の合理化を図り、その普及に尽力している。また、農業委員（平成5年～20年）、認定農業者連絡協議会会長（平成14年～17年）、岩手県農業農村指導士（平成17年～）を務め、農業振興に貢献している。この



ような取り組みが認められ、平成21年度優良担い手表彰において、農林水産省経営局長賞を受賞した。

豊かな公が息づくまち

もつと町が好きになる情報

日詰地区で

地区創造会議が

始まっています

町は、日詰地区で地区創造会議を実施するにあたり、日詰公民館との打ち合わせや自治公民館長などへの事業説明を行ってきました。昨年6月から、婦人会や行政区長、民生児童委員やPTA役員など、16人を集め、準備会として話し合いを進めています。

プレ地区創造会議で「まちあるき」

準備会では、商店街と住宅街に住む皆さんの交流と、日詰地区全体を「知る・見直す・学ぶ」ことが、地域づくりにとって重要との声が多く出されました。さっそく準備会のメンバーを中心に、12月18日に「日詰プレ地区創造会議」を実施。平日夜の開催でしたが19人が集まり、3月3日に下見としてメンバーで「まちあるき」を行うことが決まりました。

5つの視点でグループ分け

「まちあるき」は、5つの視点でグループ分けして、好きなところを選ぶことにしました。できたグループは「水・みどり」「あそび」「あきない」「文化・アート・歴史」「元気」の5つ。歩くときの資料は、観光交流協会などが発行した「紫波の歴史はおもしろい」「懐かしの郡山・日詰探索地図」「日詰商店街日暮らしマップ」「郡山駅古木・名木マップ」を活用。それぞれのコースは、会議の最後に発表し合い、全員で共有しました。「似たようなコースになったなあ」という声もありましたが、普段見慣れた街も、視点を変えたり、五感を使って歩いたりすることで、新たな発見につながるのではないのでしょうか。

皆さんと情報共有したい

日詰プレ地区創造会議では、初対面同士の人もいて、最初は少し緊張気味でしたが、帰るころには打ち解けて、笑顔で言葉を交わすほどに



5つの視点ごとに「まちあるき」コースを決めました

なっていました。「プレ地区創造会議まちあるき」の成果は、日詰地区にお住まいの皆さんにも報告して、情報共有し、地区創造会議本番につなげたいと考えています。どうぞお楽しみに。

地区創造会議とは

地区ビジョン(将来像)をつくる話し合いの場です。地区創造会議は、一人一人の意見を大切にしながら、地区内のあらゆる資源が、その地区内ばかりでなく、町内でゆるやかにつながるきっかけとなって、地区ごとに抱える課題解決につながる「地区ビジョン」づくりを目指しています。

- 地区創造会議は地区で違っていい
- 地域の力を取り戻そう
- 新しいつながりをつくろう
- 新しいまなざしを持とう
- 地域の価値を再発見しよう
- 地区と行政がともに取り組もう
- 可能性の光を見つけよう



路地にも多くの発見があります

■問合せ 企画課 協働支援室 ☎(0272)608084

町内の「市民活動」「地域コミュニティ」「町の施策」への市民参加など、毎月、協働のまちづくりの情報をお伝えします。



みなさんも冬季の 省エネ・節電に 取り組んでみませんか？

環境に 波紫

節電の実施は、電気代の節約にもつながります。お財布に優しいだけでなく、
一人一人の心がけひとつで、温室効果ガスの排出量増加を抑える効果も得られます。
特に、冬場の夕方以降は家庭の電力需要が増えます。ピーク時に電気製品の使用が重ならないよう
家事の段取りを組むなどの工夫をして、次の節電メニューの中から、無理なくできるものを選び、
冬場の省エネ・節電に取り組んでみませんか。

節電メニュー

節電効果（削減率）

エアコンを使用
する家庭
の場合 ※1

ガス・石油ストーブを使用する
家庭の場合 ※2

①照明



●不要な照明をできるだけ消しましょう。

4%

6%

②テレビ



●画面の輝度を下げましょう。
●必要な時以外は消しましょう。

2%

3%

③冷蔵庫



●冷蔵庫の設定を「弱」に変えましょう。
●扉を開ける時間をできるだけ減らしましょう。
●食品をつめこまないようにしましょう。

1%

2%

④ジャー 炊飯器



●早朝にタイマー機能で1日分をまとめて炊きましょう。
●保温機能は使用せずに、よく冷ましてから冷蔵庫に
保存、食べる分だけ温めるようにしましょう。

1%

2%

⑤温水洗浄 便座 (瞬間式)

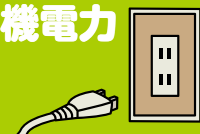


●便座保温・温水の設定温度を下げましょう。
●不使用時はふたを閉めましょう。

1%
未満

1%

⑥待機電力



●電源を切るときは、本体の主電源を切りましょう。
●使わない機器はプラグを抜いておきましょう。

1%

2%

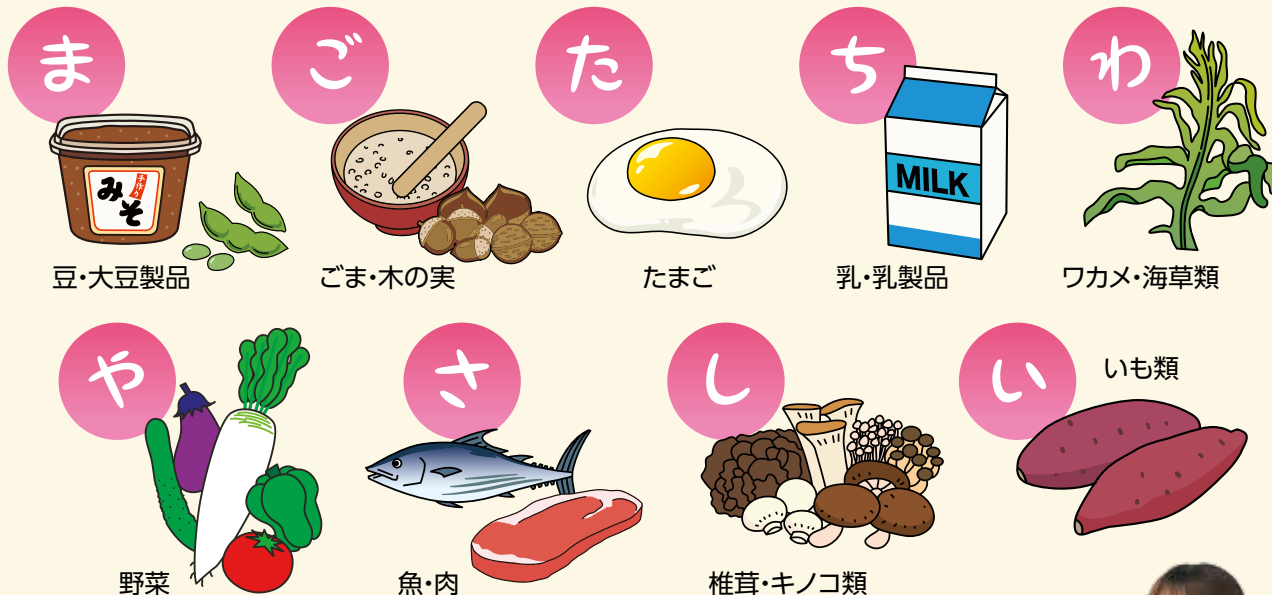
※1 通常、エアコンを使用される家庭の夕方ピーク時の消費電力(約1400W)に対する削減率の目安

※2 通常、ガス・石油ストーブなどを使用される家庭の夕方ピーク時の消費電力(約1000W)に対する削減率の目安
(資源エネルギー庁推計)

経済産業省「冬の節電メニュー」より

「まごたちわ(は) やさしい」という標語を知っていますか。これは、食品を9つにグループ分けした頭文字です。食べ物、体内でお互いに作用し合って、その効果を発揮します。食べる食材に偏りがあると、健康な体を作ることはできません。

皆さんは、さまざまな食品を満遍なく食べることができていますか。次の9つのグループの中で「あまり食べない」または「たくさん食べ過ぎる」というグループがないか確かめてみましょう。



いかがでしたか。1食で全ての食材をそろえることは難しいと思いますが、朝食で食べられなかった食品群は、昼食や夕食で食べるというように、1～3日で取り入れてみてください。ポイントは「たくさん」ではなく「まんべんなく」食べること。さまざまな食品を使うことができる煮物や鍋物なども、今の時期にはお勧めです。

健康な体づくりのためには、「運動」「休養」そして「食事」が大切。今日の食事時間に「まごたちわ(は) やさしい」のチェックをしてみてください。

佐々木栄養士



告知 地域医療について考える講演会

「知っておきたい地域医療体制の仕組み」
～病気になったとき、自分も家族も困らないために～
夜中や休日に具合が悪くなって困った経験はありませんか。町を取り巻く医療体制を理解し、いざという時に備えましょう。

■日時 2月5日(火)午後1時30分～3時

■会場 保健センター

■講師

岩手県県央保健所 所長 菅原 智先生(紫波町出身)

■定員 80人

■申込・問合せ 1月31日(木)まで

長寿健康課 健康推進室 ☎672-4522

募集 楽しく健康づくり! 元気はつらつメンバーズ養成講座「レクリエーションコース」

体を動かしてみんなで楽しく健康づくりをしませんか。

■日程 全10回、2月4日(月)、7日(木)、18日(月)、21日(木)、3月1日(金)、4日(月)、8日(金)、11日(月)、21日(木)、28日(木)

■時間 午前10時30分～正午

■会場 保健センターホール

■内容 ジャズ体操、足つぼ体操、ヨガ、エアロビクス、軽体操

■受講料 1,000円

■定員 40人

■申込・問合せ

長寿健康課 健康推進室 ☎672-4522 有線01-8991





自分でできるメンタルヘルス

私たちは、日常生活の中で、絶えずさまざまな刺激を受け、その刺激によって生じた心の「ゆがみ」をストレスとして捉えています。ストレスを抱えた状態が続くと、心身のバランスが崩れ、体に異常が現れてきます。



ストレスを自覚して自分でコントロール

●「なくす」「勝つ」から「うまく付き合う」へ

ストレスを完全に取り去ることや、完璧に解消することは難しいことです。「ストレスがあつて当たり前」と思い、溜め込まないように工夫して、吐き出したり、軽くしたり、上手に付き合うようにするといふでしょう。

●自分のクセを知る

人にはそれぞれ、ものごとの捉え方にクセがあります。同じ失敗でも、この世の終わりのように落ち込んでしまう人もいれば、また頑張ればいいやと思える人もいます。それが考え方のクセです。自分のクセに気付くだけでも、考え方や結果がずいぶん変わってきます。

●こんな「考え方のクセ」は要注意！

自分の考え方のクセを客観的に見つめてみましょう。

●「こうすべきだ」と決め付けたがる 勝手にハードルを作り、自分を追い込んでしまう。

●ものごとに極端に白黒をつけたがる 少々の失敗で、もうダメだと思ってしまう。

●一度の失敗や良くない出来事にとらわれる また次も同じことが起こるのでは、と不安になってしまふ。

●深読みのしすぎ 他人の言葉や態度に、裏や魂胆があると思ってしまう。

●強すぎる責任感 何でも自分のせいだと感じてしまふ。

■問合せ 福祉課 福祉推進室 ☎672-2111 内線1522

からだよろこぶヘルシーレシピ

牛乳入り味噌汁

カルシウムを補給するために、毎日、牛乳を飲んでいる人も多いのでは。牛乳をそのまま飲むとおなかの調子が悪くなるという人は、少量を加熱して料理に使ってみてはいかがでしょうか。

👉 材料 (4人分)

ダイコン… 80~100g ネギ… 30g みそ… 大さじ2~3
ニンジン… 40g 牛乳… 300cc
コンニャク… 40g だし汁… 300cc



👉 つくりかた

- 1 ダイコンは皮をむいて、1cm厚さのいちょう切りに、ニンジンも皮をむいて、5mm厚さのいちょう切りにする。
- 2 コンニャクは、ニンジンの大きさに合わせて薄切りに、ネギは斜めに薄切りにする。
- 3 鍋にだし汁を作り、ダイコン、ニンジン、コンニャクを煮る。
- 4 野菜が軟らかくなったら、みそを溶き入れる。
- 5 牛乳とネギを加えたら、沸騰する直前に火を止めて出来上がり。



紫波町食生活改善推進員協議会 古館地区会員 内藤輝子さんのレシピです

安全安心を願う 「光のページェント」

紫波地区地域安全推進協議会と紫波警察署は12月14日、年末年始地域安全運動出発式と「光のページェント安心の街灯り」の点灯式を紫波中央駅で行いました。関係者約100人が見守る中で明かりが点灯された後、紫波第一中学校の合唱部をはじめとする生徒15人がクリスマスソングを披露しました。藤原孝協議会長と川村邦光署長のあいさつ後、20台ほどのパトカーがパトロールに出発しました。

「きれいだね」という声があちこちで聞かれました



みんなで明るいお正月 町内被災者に年越しセット

ごなどの食品の詰め合わせを贈りました。日誌地区に避難している吉井由信さんは「地域によって支援が少なくなってきた中、このように支援をしていただけることは恵まれているし、ありがたいことだと思っています。先の不安もあります、地域の皆さんの温かい言葉と心に元気づけられます」と感謝していました。



町の特産品などが入った「年越しセット」

町は12月21日、中央公民館で、町内に避難している72世帯166人に、そばや餅、りん

育てたリンゴを 産直で販売 赤沢小

赤沢小学校（細越馨校長）の3年生児童6人が12月6日、1年間育ててきたリンゴを産直センターあかさわで販売しました。児童たちは、訪れるお客さんたちに元気な声で宣伝し、リンゴの試食などを実施。児童ら手書きのお勧めメッセージが添えられた29袋のリンゴは、開始から30分ほどで完売しました。販売を終えた池田匠君は「蜜が入っていて、食感はシャキシャキしたおいしいリンゴです。みんなで頑張って、全部売れたのでうれしかったです」と、充実した表情でした。



お客さん一人一人に丁寧に説明する児童たち

農業の未来を 担う青年クラブ 55周年



紫波町農村青年クラブ（富山知倫会長）は今年で創立55周年を迎え、12月2日、J Aいわて中央パールパレスで記念式典を開催しました。関係者など約50人が参加し、歴代会長の表彰や活動報告、記念講演が行われました。同クラブは、平成14年から親子農業体験教室を開催し、これまでに、約80人の一般の親子が参加。青年の組織離れなど、抱えている問題もありますが、今後の活動のさらなる発展が期待されます。

記念あいさつを述べる富山会長

一中生、マーチングで 東北大会金賞



報告に訪れた部員。左から、鈴木茉緒さん、河野友紀子さん、菊池佳さん、高橋咲菜さん

第25回全日本マーチングコンテスト東北大会が10月28日、青森県で行われ、ビギナーの部に出場した紫波第一中学校吹奏楽部が金賞を受賞しました。これを受け、吹奏楽部員4人と佐々木顧問、岩泉校長が、11月29日に教育長室を訪れ、報告しました。部長を務めた鈴木茉緒さん(3年)は「今年初めての取り組みで不安もあったけれど、結果を出すことができて良かった」と話し、新部長の高橋咲菜さん(2年)は「先輩が残してくれた歴史を発展させていきたい」と今後の活動に意欲を見せていました。

クリスマス会に 人形劇がやってきた!



表情豊かに人形を動かす劇団メンバーの皆さん

人形劇サークルにここ(西在家悦子代表)は12月20日、志和公民館で行われた子育て支援ボランティア「にここ広場」(鷹嘴靖子代表)のクリスマス会で、23人の親子を前に、人形劇「3匹のこぶた」を披露しました。同サークルは、同広場OBによって構成されており、結成12年目。大きな人形が動く楽しい劇に、子どもたちの表情もくると早変わり。目の前で繰り広げられる物語を楽しんでいる様子でした。西在家代表は「子どもたちに元気と笑顔をもたらして続けます」と顔をほころばせていました。



優しいお顔の人形に、思わずにっこり!

町産鏡餅で迎える新たな年

J Aいわて中央もち米生産部会紫波支部は12月28日、町が全国有数のもち米産地であることをPRするため、お正月期間中、役場庁舎の1階ホールに飾るための鏡餅を寄贈しました。同日行われた贈呈式では、藤尾東泉代表理事組合長と岩館則雄もち米生産部会長が、5升の町産ヒメノモチで作られた鏡餅を藤原町長に手渡しました。



町長(右)に鏡餅を手渡す藤尾理事(中)と岩館部会長(左)

しなやかな演技で観客を魅了

町体育協会は12月23日、サン・ビレッジ紫波で「妖精の舞」女子新体操」と題し、北上翔南高等学校など県内女子新体操選手の公開演技を催しました。選手たちが次々と繰り出すダイナミックかつ繊細な演技に、場内からは歓声や拍手がわき起こり、来場者からは「初めて生の演技を初めて見



国体強化チームによる優美な舞い

ましたが、バク転などがすごかったです」楽しそうに演技をしていて、見ていて気持ちが良かったです」などの声が聞かれました。また、5回目の取り組みとなった今年は、北上翔南高等学校の鬼剣舞部などの特別公演も実施されました。

■問合せ 農林課 農政企画室
☎672-2111 内線3322

入札参加資格の審査 申請書の受付

岩手中部広域水道企業団は、平成25、26年度の入札と見積もりに参加を希望する業者から「競争入札等参加資格審査申請書」の提出を受け付けます。

■要領・様式

企業団ホームページからダウンロード(企業団事務所でも配布)

■受付期間 2月1日(金)～28日(木)

■HPアドレス

www.iwatetyubu-suido.jp/

■問合せ

岩手中部広域水道企業団(北上市和賀町) ☎0197-73-5300

募集

■介護認定調査員の募集

町は要介護認定調査を行う非常勤の調査員を募集しています。

■業務内容 介護保険の要介護認定のための訪問調査

■募集人員 1人

■勤務条件 週3日(曜日は要相談・土日祝日は除く)午前8時30分～午後3時15分

■雇用期間 2月1日～3月31日(4月以降更新の可能性あり)

■賃金 5500円/日

■資格 普通自動車第1種免許(オートマ限定不可)/看護師・ケアマネジャーなど介護知識のある人

■申込・問合せ 1月24日(木)まで(申込順に随時面接を行います)

長寿健康課 介護保険室

☎672-4522 内線6127、6128

相談

■弁護士無料相談会

土地関係・会社関係・多重債務など、さまざまな内容を受け付けます。企業など個人以外でも利用できます。ご予約の上お出かけください。

■日時 2月1日(金)

午前10時～午後3時

■会場 総合福祉センター

■申込・問合せ 社会福祉協議会

☎672-3258(要予約)

■こころの 悩み相談

例年1月から3月は自殺者が多い

傾向にあります。その多くは、直前にうつ的な状態にあると言われており、早期に発見・治療することが大切です。町は「心の病気」で悩んでいる人や、その対応にお困りの家族を対象に相談会を開催します。

■日時 1月29日(火) 午後1時～4時

■会場 総合福祉センター

■申込・問合せ 1月25日(金)まで
福祉課 福祉推進室 ☎672-2111
内線1523 有線01-8921

■介護者のこころの相談室

介護者がいる家族のための「心のケア」事業です。予約制で、心の専門家が個別に相談に応じます。相談内容の秘密は守られます。日頃介護で悩んでいることや不安に思っていることなどをお気軽にご相談ください。

■日時 1月18日(金) 午後1時～5時

■会場 保健センター

■内容 1人1時間程度の個別相談会

■定員 4人

■申込・問合せ 1月16日(水)まで
紫波町地域包括支援センター
☎671-1101 有線01-8991

イオン

商品券5,000円分プレゼント!!

キャンペーン期間中に入学された方に、

キャンペーン実施期間:平成25年1月5日から3月末まで
対象車種:普通車(MT・AT) 対象者:高校生・専門学生・大学生

無料送迎バス
もあります!

■教習料金(全額)
一所持免許:なし・原付の場合—
普通車(MT) ¥286,950
普通車(AT) ¥271,950

岩手県公安委員会指定
紫波中央自動車学校
〒028-3304 紫波町二丁目字西七久保66番1 ☎0120-219-196

森のクラフト教室「漆塗り・絵付け」

箸に漆を塗って絵付け体験をします。完成した箸は仕上げ加工をして後日プレゼント。漆に直接触れるとかがれるため、ゴム手袋を準備しています。

■対象 小学校4年生以上(大人も可)

■日時 1月20日(日)午前10時～午後0時30分

■会場 農楽交流館 紫波中央駅前事務所(旧紫あ波せ本舗)

■費用 1000円(材料代) ■定員 15人

■申込・問合せ 農楽交流館
紫波中央駅前事務所(佐川) ☎090-9632-5823

新築建売住宅

紫波町桜町 全2棟!

太陽光発電システム搭載
2,080万円~(税込)

☆復興支援・住宅エコポイント対象物件
【主な設備・仕様】◎システムキッチン(浄水器一体型水栓・ステンレストップ)◎全屋Low-Eガラス◎換気暖房乾燥機付ユニットバス◎シャワーブース◎シャワートイレ◎TVモニター付インターホン ほか

★物件概要★所在地:紫波町紫波町桜町5番4号◎交通:JR東北本線日詰駅徒歩14分◎構造:木造2階建て◎地戸数:2戸◎販売戸数:2戸◎間取り:4LDK◎土地権利:所有◎地目:宅地◎都市計画/用途:住宅用◎用途地域:無指定◎建ぺい率:70%◎容積率:200%◎現況:未竣工◎完成予定日:平成25年1月中旬◎道路:公道・幅員約5m◎設備:公営上下水道・東北電力・LPガス◎駐車場:砕石・土間コンクリート各1台分◎学区:赤石小学校・紫波第一中学校◎確認済証/期HPA-12-02516-1号ほか◎確認済年月日:平成24年6月8日◎取引態様/媒介/売買代金の他に仲介手数料がかかります

★太陽光発電システムの代金は物件価格に含まれています。
★土地・建物契約と太陽光発電システムの契約は別契約になります。

パート募集中

8:30~18:00までの間で
4時間~6時間程度

岩手県知事(1)2440号 広告有効期限:平成25年2月28日

(株)紫波中央不動産 〒028-3305 紫波町日詰字丸盛222-1(ユニバースそば) ☎019-671-2161 紫波中央不動産 検索

医療保険適用
在宅マッサージ

無料
お試し体験
実施中!!

歩行が困難な方
・身体にマヒがある方・不自由がある方
・車椅子使用の方など…
お気軽にお電話ください。
紫波エリア担当 ☎090-3753-0594

ご病気や障害・高齢等により自力で歩行通院が困難な方を対象にした在宅で安心して受けられる医療サービスです。
あん摩・マッサージ・指圧師の国家資格保持者が施術します。医師の同意書が必要です。(書類は治療院にあります)
利用料につきましては、ご加入いただいている保険によって変わりますのでご相談ください。

レイス治療院グループ
盛岡となん整骨院
盛岡市三本柳10地割17-53
TEL.019-656-6776

地元地域で活躍していただけるマッサージ師さん募集!!



催し

■'13紫波冬まつり開催!

今年も司会にふじぽんを迎え、ステージイベントや屋台村、寒中神輿、夢灯りに冬花火と内容盛りだくさん。今年は雪合戦大会も開催されます。

■日時

1月19日(土)午前11時～午後9時

■会場

ラ・フランス温泉館周辺エリア

■内容

【ステージイベント】やなだ真栄一座民謡ライブショー／宮手鹿踊り／THE BRANDNEW COOL(バンド)／蝦夷(バンド)など

【武田家ライトアップ】午後5時～9時

【雪合戦大会】午前9時～

【冬花火】午後7時30分～

※臨時バス運行 ①志和稲荷・志和古稲荷→会場 ②せせらぎ駐車場→ナックス→紫波中央駅→会場

■問合せ 紫波町観光交流協会

☎676-4477

BSE(狂牛病)を考える シンポジウム

■日時 2月2日(土)午後1時30分～4時30分

■会場 ホテルメトロポリタン盛岡

■申込・問合せ 2月1日(金)まで
県庁県民くらしの安全課

☎629-5322

■「訪問介護員」養成講座

第3期訪問介護員養成研修2級課程が開催されます。

■期間 2月12日(火)～3月25日

(月)全20日間

■会場 ふれあいランド岩手(盛岡市三本柳)

■定員 40人

■受講料 6万5000円(実習費、テキスト代含む)

■申込・問合せ

岩手県高齢者福祉生活協同組合

☎653-5830



お知らせ

■町県民税・所得税申告相談のお知らせ

平成24年分の申告相談会を開催します。詳しくは、本紙と一緒に配布の「町民税・所得税申告相談のご案内」をご覧ください。

■期間 2月15日(金)～3月15日(金)

■会場 赤石公民館

■問合せ 税務課 課税室

☎672-2111 内線1222・1223

有線01-8912

盛岡税務署の申告会場 盛岡駅西アイーナに開設

所得税(譲渡所得を含む)、消費税、贈与税の申告が必要な人はご利用ください。

■開設期間 2月1日(金)～3月15日(金) ※土・日、祝日は2月24日(日)と3月3日(日)のみ開設

■開設時間 午前9時～午後4時

■開設場所 アイーナ(盛岡駅西口) ※税務署には申告書作成会場を設置していません。

国税庁ホームページ(<http://www.nta.go.jp>)で、確定申告書(所得税・消費税・贈与税)、青色決算書、収支内訳書を作成できます。国税電

子申告・納税システム(e-TAX)を利用するとさらに便利です。

■問合せ 盛岡税務署 ☎622-6141

所得税申告で 障害者控除を受ける人へ

控除を受けるためには、町で交付する「障害者控除対象者認定書」が必要です。

■交付場所 ※今年から変わりました
保健センター(長寿健康課)

■認定対象者 町内に住所がある65歳以上の人で、介護保険の要介護認定を受けた人

■認定書が不要の人

町の申告相談会場で申告する人や、「身体障害者手帳」「養育手帳」「精神障害者保健福祉手帳」などの交付を受けている人

■問合せ 長寿健康課 介護保険室
☎672-4522 有線01-8974

経営基盤の強化の促進 に関する基本構想案

①意見を募集します 市民参加

認定農業者や農地集積などに係る基本構想について、意見公募を行います。基本構想案は、役場庁舎や各公民館、役場ホームページで閲覧できますので、ご意見をお寄せください。

◇期間 1月25日(金)～2月15日(金)

②意見交換会 市民参加

同構想について、意見交換会を行います。どなたでも参加できますので、お誘いあわせてお出かけください。

◇日程 1月27日(日)午後2時～3時

1月28日(月)午後2時～3時

◇会場 中央公民館 研修室

紫波の冬を思いっきり楽しもう!!

紫波冬まつり

ラ・フランス温泉館エリアで開催。
屋台や各種催し、日が暮れると夢灯りが点灯。
そしてクライマックスは夜空を彩る冬花火。

ラ・フランス温泉館は今年も24時まで延長営業します。

2013
1/19土
午前9時～午後8時

紫波町小屋敷新在家90番地
☎019-673-8555
FAX 019-673-8556
ラ・フランス温泉館 検索
URL <http://www.lafrance.co.jp/>

ハダカのおつきあいで一だんらん。
La France
ラ・フランス温泉館

あけましておめでとうございます
今年も自園自醸ワイン紫波を
よろしく願います

(株)紫波フルーツパーク ☎019-676-5301
紫波町遠山字松原1-11(道の駅紫波の裏手) <http://www.shiwa-fruitspark.co.jp/top.html>

第27回こどもの本 「学び・羅針盤」

こどもの本の世界について語り合ってみませんか。聞くだけの参加もできます。興味のある人は直接会場にお出かけください。

とき **1/26**
午前10時～正午

ところ **中央公民館 第2研修室(2階)**

「山の上の火(岩波おはなしの本)」
[岩波書店]を読んで

親子わらべうたで あそぼう会

童歌に合わせて親子で楽しくゆったり遊ぶ会です。動きやすい服装でお出かけください。

とき **1/21**
午前10時30分～11時30分

ところ **中央公民館 和室(2階)**

問合せ **おはなしの森(菅原)**
☎673-6291

東北銀行「6次産業化セミナー」

平成24年9月交付の(株)農林漁業成長産業化支援機構法に基づく「6次産業化ファンド」についての講演会と個別相談会が開催されます。

■日時 1月29日(火)午後1時～5時

■会場 情報交流館大スタジオ

■内容

・第1部「農林漁業成長産業化ファンドについて」

講師：農林水産省食糧産業局 担当官

・第2部「6次産業化へのヒント」

講師：(株)パイロットフィッシュ 代表取締役 五日市知香氏

■主催：(株)東北銀行 ■共催：紫波町農林公社 ■後援：東北農政局盛岡地域センター、岩手県、紫波町、紫波町商工会、岩手県中小企業団体中央会(岩手6次産業化サポートセンター)、日本貿易振興機構(ジェトロ)盛岡貿易情報センター

■申込 1月22日(火)まで

先着100人(1社2人以内)、次の事項を記入してファクシミリでお申し込みください。

【記入事項】団体名(企業名・個人名)／種別(農林漁業事業者・農業法人・民間企業・コンサルタントプランナー・行政機関または支援機関、その他)／参加者名(役職)／住所／電話番号／FAX／電子メール／個別相談予約の有無。

【申込先】(株)東北銀行 アグリビジネス推進部 FAX651-4310

■問合せ 農林課 農政企画室
☎672-2111 内線3324

In Japanese what do
you call the first dream
of the year?



紫波第三中学校3年生の
高橋理子さん(左)と高木希実さん

Hint
Mount Fuji, a hawk,
or an eggplant.

ハワードさんと一緒にポーズ

【先月号の質問(和訳)】

「year-end」という
パーティーは、日本語で
何と言うでしょう。

【答え】忘年会

郵便はがきまたは電子メールで、住所、氏名、年齢、電話番号、答え、『紫波ネット』の感想や町へのご意見などを記入の上、ご応募ください。締切は**1月31日(木)消印まで**。☎028-3392紫波町役場企画課情報政策室「英語クイズ」係 電子メール joho@town.shiwa.iwate.jp

ハワードさんの 英語クイズ!

正解者の中から抽選で
記念品をプレゼント

寄せられたご意見・ご感想

●町内にイベントがたくさんあることが分かりました。今後もできるだけ詳しく載せてください。(古館・40歳代)

●図書館をたくさん利用しています。オガールプラザのイルミネーションきれいですね。(古館・40歳代)

中央葬祭
センター シンセラホール紫波

お陰様でオープン4周年

シンセラホール紫波は、1月10日でオープン4周年を迎えます。

大切な人をお送りするために…

これからも、真心込めてお手伝いさせていただきます

岩手県紫波郡紫波町桜町字上野沢278

☎676-7676 FAX676-4404 「シンセラホール紫波」



中央葬祭センター



紫波町に定住・住替を
お考えの皆さんへ
理想の住まい探しを
サポートします。

(社)全日本不動産協会会員 東北地区不動産公正取引協議会会員
岩手県知事免許(2)2255号

ウエノ不動産管理(有)

☎671-2072 FAX 671-2073

日詰字下丸森9-4(養老乃瀧 紫波町店となり)

最新情報はホームページへ「ウエノ不動産管理」検索

この街で宅地・建物の売買、仲介、
自社開発分譲を手がけています。
ご成約された被災者の方には
特典をご用意しています。

※詳しくはお問合せください。

サロンで元気 はつらつに!!

★こんなうれしい声もありますよ★

毎週行くのが楽しみです!
サロンに行くと元気をもらう!
仲間ができて良かったです!
などなど

ふれあいプラザ赤石に参加した皆さん



元気はつらつサロンは、希望する高齢者が週1回集まり、話語りを楽しみながら、趣味活動やレクリエーション、軽体操などを行っています。外出や交流の機会を持って、楽しみのある生活を送ることで、認知症や身体機能の低下、閉じこもりを予防します。

今の元気を維持するために、もっと元気に暮らすために、参加してみませんか。お一人でも、お友達を誘ってのお申し込みでも大歓迎です。見学もできますので、お気軽にお問い合わせください。

みなさん!サロンに来て明るく元気に 過ごしませんか

- ◆対 象 65歳以上で介護保険の認定を受けていない人
- ◆会 場 町内3カ所
ふれあい交流館(二日町字古館356-1福祉センター内)
ふれあいプラザ赤石(北日詰字白旗88-2)
シニアプラザ佐比内(佐比内字館前1-1)
- ◆時 間 午前9時30分～午後3時30分
- ◆回 数 週1回(通年実施しています)
- ◆送 迎 自宅から各会場まで送迎あり
- ◆参加料 1回800円(昼食代)

【申し込み・問合せ】 長寿健康課 高齢者支援室 ☎672-4522 内線6121 有線01-8991

体験学習(無料)受付中

そろばん・あんざんで計算力アップ!
学習や日常生活に活かされます。

紫波町日詰字郡山駅

石川珠算教室

☎672-2621

岩手県知事認可 紫波町稲藤字升形

関谷珠算学校上平沢教場

☎673-6965



介護スタッフ募集

- 職種/高齢者賃貸住宅内での介護業務
- 資格/ヘルパー2級以上
- 勤務時間/7:00～翌9:00まで 4交代勤務
- 休日/1ヶ月9休(当社ソフト制)
- 給与/月収130,000円～ ※夜勤手当3,500円
※ヘルパー1級以上の方別途手当10,000円
- 勤務地/シニアパシオンしわ ●待遇/各種保険完備
- 応募/履歴書(写真貼付)をご郵送下さい。



Ｌ・Ｅスコート株式会社エスコートヘルパーステーション(担当:吉田)
〒020-0132 盛岡市西青山2丁目1-18 3F TEL019-648-5202

眼鏡屋目明かし堂からのお年玉!オリジナル・コンテンツ!

スマホで「紫波ネット」をお聞き下さい!

スマホ(多機能携帯電話)でいつでもどこからでもこの「紫波ネット」の内容を音声で聞くことができます。右のQRコードの「紫波・スマホ・ラジオ」でお聞き下さい。もちろんパソコンでも聞けます。
<http://shiwa.tv>へアクセスして下さい。



- 聞こえにくい方には補聴器をお奨め致します。
¥58,000～
- しっかり読みたい方には遠近両用メガネをお奨め致します。
¥10,000～

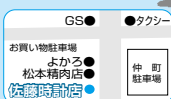
銭形率次のあるさと紫波町のメガネ店

眼鏡屋目明かし堂

有限会社 サトウ時計店

<http://www.meakashi.com>

紫波町日詰字郡山駅209 ☎676-2838 日詰バス停前



口コミが一番ホットします

相心館

Kami Hikoki

謹賀新年

本年もよろしく
お願いいたします

〒028-3303 紫波郡紫波町高水寺古屋敷 6-31
TEL019-676-5825
E-mail kamihikoki@posh.jp

OPEN 8:40
CLOSE 18:00

【定休日】1月21日・28日・2月4日・11日・17日・18日





紫波の伝統食を作る

「ひなまんじゅう」「きりせんしょ」

食の匠と一緒に伝統食を作りませんか。2月の講習会は、3月のひなまつりに向けたお菓子作りです。昔は、ひなまつりには、くず米を臼でついて米粉にして、ひなまんじゅうやきりせんしょを作って楽しんでいました。そして、出来上がったひなまんじゅうを、まずは、ひな人形に供え、神棚や仏壇にも供えました。鮮やかに彩られたひなまんじゅうときりせんしょを、今年は自分で作ってみませんか。

レシピ

ひなまんじゅう(20個分)

- ①ボウルに米粉を入れ、熱湯を注ぎながら箸でよく混ぜる。ポロポロの状態になったら手のひらを使って50回ほどしとねる。
- ②①を直径10cmほどの円形にして、熱湯に入れて煮る。浮き上がって1～2分したら、水の中に取り冷ます。ボウルに取ってまとまるまでしとねる。
- ③小豆あんは20gのあん玉にする。
- ④②の生地を半分に分け、半分の白いまま残し、残りの半部分を3等分して3色にそれぞれ色付けする。
- ⑤生地全体にかたくり粉を付ける。白い生地と色付けした生地を組み合わせ、1個50gほどにしてから平らに伸ばし、あん玉を包み、型に入れる。(型がないときはスプーンや箸を使って花などの形に仕上げる)

米(うるち)粉	500g
熱湯	600cc
小豆あん	400g
食用色素(赤・黄・緑)	適量
かたくり粉	適量

きりせんしょ(24個分)

- ①大きめの鍋に、水、しょう油、砂糖、塩を入れて火にかけ、しっかり沸騰させる。
- ②①にうるち粉を入れてすぐに火を止め、へらで粉っぽさがなくなるまで混ぜ合わせる。
- ③②にゴマを入れて、手でよくこねる(100回程度)。こねるのは熱いうちでも良いが、ぬれ布巾を掛け、生地を冷ましてからこねると作りやすく、こしが出る。
- ④こねたものは、ちぎりやすいように棒状に伸ばし、24等分にして団子状に丸める。
- ⑤だんごの真ん中に親指で穴を開け、黒砂糖とクルミを入れて穴を開け、おにぎりを握るように俵型にする。きりせんしょの型に入れて形を作り、上にクルミをのせる。このとき手にくっつきやすいときはかたくり粉を使う。
- ⑥蒸し器にかけ、中火で約10分蒸す。蒸し上がった後火を止め、すぐにきりせんしょの上から水をかけると、生地が締まってつやが出る。

米(うるち)粉	500g
水	600cc
しょう油	30cc
砂糖	200g
塩	小さじ2
刻みくるみ	大さじ3
黒ごま	大さじ1～2
黒砂糖	50g
かたくり粉	適宜

★きりせんしょの型がないときは、俵型の状態のものを使って形を作り、スプーンの柄の部分で模様を付けるとよい。

募集

「食の匠」細川玲子さんの 伝統食講習会⑨

■日時

2月23日(土)午前10時～正午
2月26日(火)午前10時～正午

■会場

オガールプラザ

(情報交流館内・キッチンスタジオ)

■募集人員 10人(先着順、初めて受講する人を優先します)

■費用 800円(材料費など)

■申込・問合せ

受付開始は1月21日(月)午前9時から

情報交流館事務局 ☎(672)2918